



第11号 (2012/11/21)

広島県福山市中之町4-3-14
Tel&fax: 084-917-5937
e-mail: info@comirune.com



Community Renaissance Research Center

稲刈りに行ってきました！



10月20日、田植えをさせて頂いた小野さんのお宅の稲刈りをさせて頂きました。市立大学の学生さんのうち都合が良かったのは小池さん一人でしたので、加納と二人で行きました。稲刈りしたのは機械が入る入り口になる田圃の四隅。50年ぶりの稲刈りで、鎌がうまく使えるか心配でしたが、身体が覚えていました。鎌を引くときに結構腕に力が必要だということが、翌日の腕の痛みで分かりました。日常生活の中で、いかに身体の筋肉を使っていないかを、こうした作業をした時には痛感します。小池さんはコンバインに乗せてもらい、はじめは小野さんに指導を受けながらゆっくりと運転。次第に調子が出て、2枚の田圃を刈りました。



大学祭を前に収穫

大学祭で野菜サークルは「豚汁」を出す予定になっています。それにあわせてサツマイモ、カボチャ、秋ジャガ

イモ、ニンジン、ピーナツなどを収穫しました。

サツマイモとカボチャはその姿が見えないくらい雑草の中に埋もれた状態になっていました。はたして収穫できるかしら、と心配していましたが、雑草の中から茎をたどって掘ってみたら、けなげに大きくなっていました。ジャガイモも時期がおそいかね、と言いつながら植えました。なんと大きくなっていました。ニンジンも去年は鉛筆の芯くらいでしたが、かなり大きくなっていました。これらは豚汁の中に入るので、一度植えた後に虫にやられて全滅であったので、植



え直し。まだで使えませ畑の隣の人に「もらい物よ」と言っていました。こぼユウリが大きくなりました。学祭で漬

物として試食してもらおうことに。今年初めて藤原さんにもらったピーナツの苗を植えました。今年はカラスやモグラがまだ気がつかなかったみたいで、収穫が出来ました。これは大学祭で見せるだけ。

第2回 童謡を楽しむ会



前回参加者の声で、せっかく高齢者の方とも一緒にやるのなら、いろいろと教えて頂きたい、

と言う声がありました。そこで、伝承遊びのお手玉作りをしながら、歌ったり、遊んだりする企画を考えました。

今回は童謡をみんなで歌った後、お手玉を使って手遊びをしました。



お手玉は売っていないので、次回作ることにしました。お手玉の縫い方を教えて下さいませ、と言うと、地域の絆の第一人者は「座布団型」のお手玉の方がやりやすいよ、縫い方は教えるよ、とおっしゃって下さいました。外に出て、フウセンカズラをとって中の種を出しました。

自己紹介をしながら蒸かし芋とブドウを食べました。最後に今川さんから子ども達の睡眠についてお話がありました。

今回は4人のお母さんと5人の子どもさん、地域の絆から5人の利用者さん、その他6人の参加でした。

都市農業を考える連続講座」第3回目
不耕作地を活かす取り組み



11月10日、午後2時から『都市農業を考える連続講座』の第3回目を開きました。「不耕作地を活かす取り組み」とのテーマで菜の花グループの瀬戸口栄子さん(代表)、小野眞喜枝さん。その概略は次のとおりでした。こうした



取り組みは次のような想
いから始めた。①これまで
農業をやっていた人が年
を重ねるにつれて体がつ
いていかなかったこと、
合わせて後継者がいなく
なって耕作放棄地が増え
てきている。こうした荒れ

た土地を子どもたちに残したのではかわいそ
う。②また、町内外の人と交流することで芦田
町を活性化したい、③地域の高齢者の健康づく
りや生きがいづくりに役立てたい、④畑がきれ
いだと住んでいる人、通る人も気持ちが良い。
2009年6月に発足して、今約4年。最初の3
年間は市の補助金をもらえたが、後の2年は補
助金はないが継続する約束。地権者とも5年間
の契約。発足当時は25人であったが、今13人
の会員。実働者は10人、平均年齢65才である。
土地は6反、4軒の地権者から借りている。

取り組み内容

1、動物園のエサ



サトウキビ、バシヨウ、ソルゴなどを栽培
し、市の動物園にエサとして買ってもらって
いる。収入の中で大きなウエイトを占める。

2、学校給食の食材

地産地消のモデルとしてジャガイモ、玉ネ
ギなどの野菜を納入。今は自分達が学校へ納入
するのが難しいので、町内の小売店と一緒に納
入し、小売店さんから学校へ持って行ってもら

っている。

3、スーパーに納入

白菜、パセリ、菜の花など。

4、ふれあい農園として

2年間葉ボタンを栽培し、200円位で売つ
た。市販のものより大きいので喜ばれた。ひま
わりを一面に植えたのも見応えがある。写真を
とりに来たカメラマンの人が絵ハガキにした
ものを送ってきてもらった

5、動物園まつり

園長さんの願いからはじまり、今年は約
6000人が参加。

町内のPIA、菜の花グループなどが出店。

グループからは生姜、サツマイモ、石焼き芋、
野菜の煮物、パーヌチーコー（自分達で考えて
大学芋をアレンジ・芋を油で揚げてココア、シ
ナモン、砂糖をまぶした）を販売。

6、一斉作業

月1、2回の一斉作業日を設けている。そ
れぞれの持ち味を活かして楽しみながらやつ
ている。「なんでも受け入れる」という気持ち
が大切。

課題

土地を借りてほしい人は多いが、担い手が
いない。自分の仕事もしながらだから、今が精
一杯。5年過ぎたらどうするか、どう参加者を
維持するかが課題。

公的資金が入っているので役立つことを考え
て頑張りたい。

今回の参加者は9人

丁度大学祭で学生さ
んは参加できません
でした。

今回も頂いた差し入
れ（パン、リンゴ、パ
ーヌチーコー、畑で出
来たピーナツちよつ



とだけ、ふかし芋など）を口しながら瀬戸口
さん達に質問したり、小野さんからは、実は：
というエピソードを聞いたりしました。

これからの行事予定

11月 (すでに終了しました。)

- ・ 11月18日(日)：仁伍音楽祭と地域の絆主催
- ・ 場所：地域福祉センター仁伍・仁伍広場(ル
ネッサンスの前です)
- ・ 時間：10時30分～13時30分
- ・ 行事内容：利用者さんや職員の方の合唱、つ
くし保育園児の合唱、バザー、沖縄エイサ
ー太鼓の演奏、明玉台高校吹奏楽部の演奏
(雨天中止)です。
- ・ ルネッサンスとしては「柏餅」とリサイク
ルバザーをすることにしました。

・お願い

お家で眠っているものがありましたら、
11月14日までにルネッサンスの方に
持参下さい。

11月17日(土)：食生活から生活習慣病を考
える

・場所：ルネッサンス研究所集会所

・時間：14時～16時

・講師：管理栄養士 寶諸純子さん

・内容：日常の食生活でちよつとした工夫や注
意で生活習慣病が予防できます。そのポイ
ントをお話頂きます

・参加費：500円

12月

12月15日(土)：都市農業を考える連続講座

第4回 水と食料・農業について～日本農
業の将来を考える～

・場所：ルネッサンス研究所集会所

・時間：14時～16時

・講師：元S広島県連専務理事、食肉市場株
式会社取締役相談役 黒木義昭さん

・内容：いま世界では水との関わりで食料生
産が危機的状况にあります。また、広島
県の農業は日本の農業の縮図でもありま
す。その点を都市農業との関わりの中
で考えていきます。

・参加費：500円

12月22日(土)：そば打ち道場

・場所：ルネッサンス研究所集会所

・時間：10時～16時

この時間内にお越し下さい。

・講師：本会理事 平田功一さん

・服装：エプロン、タオル等をご持参下さい

・参加費：500円

12月20日頃：童謡を楽しむ会をします

また、地域の絆の餅つき大会が、

12月15日(土)の午前中にあります。

編集後記



先月に引き続いて、先月は第20号だったの
に、今月は第11号となっているのをお詫びさ
せて頂きます。正しくは、先月は第10号、今
月は第11号となりますので、宜しくお願ひし
ます。

今月はバタバタしていて、会報を出すのが遅
くなってしまう、すみませんでした。

今日から体調管理の為に、バザーで購入した
ミキサーで、加納先生と事務所にて手作り野菜
ジュースを飲み始めました。

今日は、チンゲンサイ、ほうれん草、グリー
ンボール(キャベツ)、ニンジン、リンゴ適量
を入れてミキサーにかけてものを加納先生が
作って下さいました。

これが、なかなか美味しかったです！
また効果などを書いていきたいと思います。
では、寒くなりましたが、皆さんも体調にお
気を付け下さい。(羽)